

## 第 2 次安城市食料・農業・交流基本計画の総括

## 1 目標値達成状況

年度	評価区分	A 達成済	B 未達成 経過順調	C 未達成 要改善
2022(R4)年度	指標数	12	2	3
	割合 (%)	70%	12%	18%
2021(R3)年度	指標数	9	2	6
	割合 (%)	53%	12%	35%

## 2 A評価となった指標の総括

評価区分	指標名	総括
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料自給率</li> <li>・商品、レシピ等の開発数（累計）</li> <li>・農業体験等の開催回数</li> <li>・カラダいきいき栄養相談の開催回数</li> <li>・農業法人数</li> <li>・認定新規就農者の新規認定者数（累計）</li> <li>・経営体育成基盤整備事業地区数</li> <li>・農地利用集積率</li> <li>・「甘ひびき」の出荷量</li> <li>・鎮圧ローラー等にて整地された直播耕作地の面積</li> <li>・ウェブサイト等からの情報発信回数</li> <li>・産直市等の開催回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的に事業を行うことが出来たため、目標値を達成することができた。</li> </ul>

## 3 B評価となった指標の総括

評価区分	指標名	総括
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者の新規認定者数（累計）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者は本市農業の重要な担い手であるため、引き続き育成・支援策を講じる。</li> </ul>

	・農用地区域での活動実施組織数	・農用地区域での活動実施組織数については、未実施地域での組織立ち上げは難しいため、第3次計画からは活動の参加者数で評価していく。
--	-----------------	--

#### 4 C評価となった指標の総括

目標値	指標名	総括
C	・食品の安全性に係るアンケートにおいて、安全だと感じる割合	・不安とを感じる理由は、「農薬の使用や危険な添加物の使用が気になる」という声が挙げられており、こちらはテレビなどの報道内容にも影響されやすい数値と考えられる。今後も引き続き地産地消や食育の活動を通して地元農産物の安全性について広めていく。
	・農業経営体の支援件数	・借入資金への利子補給実績が少ないことは、借り入れをしなくても経営を行っていると捉えることもできる。
	・ふれあい田んぼアートの申込者数	・田植え、稲刈りともに新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ開催した。令和5年度からは、コロナ前の通常開催にて実施する。参加者数は当日の天候に左右されやすいが、今後は目標値を達成できるようイベントの周知方法など検討する。